

< 委員からの意見 >

- 「自家用車がある間は公共交通機関を利用しない」とアンケートにある通り、利用率アップは難しい。免許返上者、病弱者、困窮者等に的を絞った公共交通に限定、移行すべきではないでしょうか。

(事務局回答)

今後も引き続き公共交通を必要とされる方々の要望や需要を注視し、公共交通の維持確保に努めてまいりたいと考えております。

- 人口減少に歯止めがかからない中で、目標利用者数の達成は難しいと思われますが、国庫補助金への影響はないのでしょうか。

(事務局回答)

当該補助金は、「地域内フィーダー系統確保維持計画」の認定を受けることで、その計画対象路線の運行実績に基づいた欠損額に応じて補助額が決定されるものとなっており、計画に定めた目標利用者数の達成度は、補助金に影響しないものとなっております。

ご指摘いただいた通り「利用者数を維持する」という目標は、近年の人口減少を考慮すると、難しいものであると思われますが、生活バスの運行維持のために高い目標を設定し、その達成に向けた努力を続けてまいりたいと考えております。